

# 議会だより ふだい

FUDAI 40

No. 137

平成28年11月15日発行

村民の皆さんと議会を結ぶ情報誌。一緒に考えよう、この村のカタチ。

台風10号被害にかかる復旧費など可決 — 9月定例会 2頁

防災に関わる整備必要！ 村民の避難行動についてなど 一般質問に2人 6頁

44億円の使い道を再チェック！ — 決算特別委員会 8頁

記録的大雨 村を直撃…被害・復旧状況 10頁

秋の陽気に笑顔！

(10月21日、はまゆり子ども園紅葉狩り)

思惟大橋公園 田野畑村



9月定例会

台風被害に伴う復旧費  
1億2千万円を補正増

可決



被害状況を視察する議員（上区の羅賀橋に詰まった流木）

村議会第7回定例会（9月定例会）が9月13日から15日までの3日間開かれ、一般会計で台風10号による復旧費が増額補正されたほか3つの特別会計の補正予算、条例の一部改正、固定資産評価審査委員会委員の選任、教育委員会委員の任命同意など15議案が審議され、全員賛成で同意・可決しました。また、平成27年度一般会計、各特別会計決算の認定は、決算特別委員会を立ち上げ、集中審議しました。一般質問には2議員が登壇。自然災害に対する村の防災対策について問題提起しました。今号は、補正予算や条例改正などの内容、質疑、一般質問、台風被害の状況、請願・陳情、一般質問その後などの内容をお届けします。

補正予算

一般会計補正で  
3千万円を減額

▽一般会計補正予算（第5号）  
平成28年度一般会計補正

予算（第5号）では歳入歳出に3097万8千円を減額し、歳入歳出予算の総額を33億4044万1千円とするのを全員賛成で可決しました。

主な内容は、歳入で国庫支出金の漁村再生交付金事業補助金3500万円を減額、歳出では白井漁港漁村

再生交付金事業工事7000万円を減額しました。

一方で、小中一貫校建設に充てる教育施設整備基金積立金2000万円、沢漁港の維持修繕に550万円、村道の点検、草刈り、補修に750万円、クマ対策として有害鳥獣対策費に18万円などを増額しています。

台風の災害復旧に  
1億2千万円補正

▽一般会計補正予算（第6号）

平成28年度一般会計補正予算（第6号）では歳入歳出に1億2213万1千円を増額し、歳入歳出予算の総額を34億6257万2千円にしました。

水・一部破損・非住家3万円、対象は86人になります。また、防災用備蓄資材費30万円、職員の時間外手当などに243万6千円を計上したほか、災害ごみ処理にかかる委託料539万円、土砂・廃棄物撤去業務委託料2500万円、橋梁災害復旧測量設計業務委託料4000万円。そのほか、流木処理、村道補修、農地等修繕費、簡易水道特別会計への繰出金など台風10号関連の復旧費に総額1億2200万円ほど増額補正しています。

普代簡水復旧に  
委託料など計上

▽簡易水道特別会計補正予算（第3号）

補正額2478万円を増額し、歳入歳出予算の総額を9652万8千円にしました。

台風10号で普代簡易水道の送配水管（上区の水管橋）が被害にあったことから、仮配管を行った分の修繕費と復旧設計業務委託料など2478万円を増額することに決まりました。

条例改正

上区の村営住宅  
家賃などを改正

▽村営住宅条例の一部改正

村道普代駅前1号線道路改良事業に伴い、移転対象であった代替え住宅が完成見込みであることから、上区地区の住宅の面積を102・7平方メートルから88・6平方メートルに、家賃月額を1万円から2万6700円に改正されます。



新築された上区地区の住宅

また、旧給食センター（旭日区）脇の住宅を解体することから、村営住宅条例を廃止するものです。

坂下重雄氏が死去



前村議会議員（9月30日辞任）の坂下重雄氏（茂市）が10月4日、死去されました。82歳でした。坂下議員は震災後の平成23年6月に初当選し、2期・5年3カ月余在任。任期中は総務常任委員長を務めるなどし、村の発展にご尽力されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

教育委員会委員に  
熊谷さん、上神田さん再任



任期満了に伴い、堀内の熊谷榮子さんと中央区の上神田敬二さんをそれぞれ教育委員会委員に再任することを全員賛成で同意しました。熊谷さんは6期目で、任期は平成31年9月30日までの3年間、上神田さんは2期目で、任期は平成32年9月30日までの4年間です。

固定資産評価委員に  
畠中 勲さん再任



任期満了に伴い、上区の畠中勲さんを固定資産評価審査委員会委員に再任することに全員賛成で同意しました。畠中さんは6期目で、任期は平成31年9月30日までの3年間です。

主な質疑

保健師の募集で  
応募規定見直しは

中上議員

保健師の募集について、なかなか応募がない中、年齢制限等応募規定を見直す考えはないか。

征屋村長

久慈振興局などから検診等でも応援をいただきながら、保健師確保に努めていく。年齢等々につきましては、これまで同様の中で再募集をかけて様子を見ていく。

鶴鳥七頭舞への  
寄付の内容は

野場議員

中野流鶴鳥七頭舞に対する団体育成事業のアサヒグループの寄付の内容を伺う。

松葉教育次長

地域での草刈り  
変わった経緯は

正路議員

以前、地域で草刈り作業をしてそれを地域の経費として使わせていただいていたが、今はシルバー（人材センター）さんがやるようになった経緯は。

太田建設水産課長

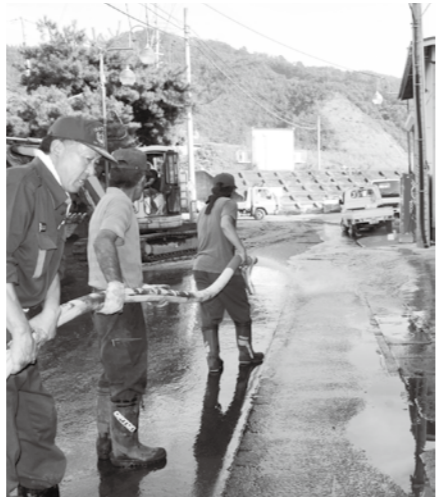
今年度政策推進室のふりさと応援事業補助金という事業に変えたが、人件費部分的なものをかせないという事で村の予算でシルバーさんに依頼したというものである。

災害の補正分は  
国からくるのか

大上議員

災害にかかる1億5000万円の補正は、一般財源で補正を組む訳だが、国

アサヒグループコミュニティー助成事業というものがあり、こちらに助成の申請をした結果採用となり、50万円が決定となったものである。



台風後に道路を清掃する消防団員

などから財源があとでくるのか。  
川向総務課長  
震災の例では、災害救

助費に関する県からの負担があると認識している。あと激甚災害に指定になれば、災害復旧費の補助率が

90（%）位まで上がりそれに対しての補填などがあ

婦人消防協力隊  
活用も必要では

金子議員

台風10号による災害の職員体制、連携の点検について、また婦人消防協力隊の活用も必要ではないか。

川向総務課長

台風10号の検証については消防団、地区などの話し合いを持っていきながら検証していかねばならない。避難所の体制は2名ずつ

農地復旧修繕費  
委託料の説明を

森田議員

農地・農業用施設災害復旧修繕費の400万円と、災害に関連する委託料についての説明を。  
佐々木農林商工課長  
普代と茂市の頭首工で

7カ所に職員を配置しなければならず、そこに物資の補給などを考えれば人が足りない状況になり考慮しなければならぬ。

太田建設水産課長

3カ所、上区・普代にある頭首工は今回にはないが、災害復旧工事で400万円から500万円になる。そのほかは芦渡地区農業用道路、田んぼの法面の補修になる。  
橋梁災害復旧測量設計業務委託料4000万円は、橋脚がなくなった羅刹橋分である。  
あと村道5、6カ所分など災害復旧の査定に出すための委託料である。

次のページは

「一般質問」

村の課題を  
熱く深く議論!

9月定例会の初日に一般質問が行われ、大上浩史議員、森田幸一議員の2人が登壇しました。

一般質問とは、議員が執行機関である村長などに対し、事務事業の状況や将来の方針などについて、問いただしたりすることをいいます。村は「一問一答方式」で行っていますので、1人60分の制限時間内で質疑を繰り返します。

質問者と内容



【1番目】  
おおかみ ひろし  
大上 浩史 議員 6p

- ① 10号台風について
- ② 奨学金制度の確立について



【2番目】  
もりた こういち  
森田 幸一 議員 7p

- ① 防災について

※頭首工…河川などから用水路へ必要な水を取り入れるための施設



森田 幸一

# 台風10号による水害 問題点の検証を

## 河川の治水対策が最優先

榎屋村長

**質問** 台風10号の水害を  
検証して防災対策  
を考えなければならぬと思  
うが、現時点の問題点と  
改善点について伺う。

**危険箇所を点検し  
被害の抑制に努める**

**答弁** 榎屋村長 水防対  
策は、普代村地域  
防災計画の水害予防基本方  
針により河川改修・砂防・  
治山等計画的な実施をし、  
普代ダムや河川などの適正  
な維持管理や整備をしてい  
くことになっている。

現状は全ての分野、箇所  
を一気に対応することは不  
可能であり河川護岸や法面  
の決壊など村民からの情  
報・要望を元に危険度、優  
先度の高い箇所への予防工  
事を順次進めている。

また、越水などには消防  
団による土のう緊急設置や  
浸水常襲地には大型ポンプ  
の据え付けなども行ってい  
る。ただ、県管理の普代川・  
茂市川の改修や砂防事業な  
どが思うように進んでいな

い。今後も防災関係事業が  
着実に推進できるよう強く  
取り組む。

改善点は、県管理の普代  
川・茂市川の治水対策を最  
優先で事業化することに尽  
きる。この事業は規模が大  
きく土地所有者の協力も不  
可欠だ。

河川改修には時間がかか  
るので茂市川などへの逆流  
防止ゲートの設置や、側溝  
の詰まりなどの改善をしな  
がら、村内全域の巡回点検  
をし危険箇所の解消・被害  
の抑制につなげる。

なお、橋の構造はできる  
だけ橋脚を設けないか少な



台風10号で越水した普代川（沢山橋の上流）

くすることが大事な点だ。  
現在事業中の沢山橋は橋脚  
なしで設計、羅賀橋につい  
ても同じように設計した  
い。また、河川区域内の樹  
木の管理にも何らかの取り  
組みが必要だ。

**避難情報に対する  
村民の行動検証は**

**質問** 村の避難情報に対  
する村民の避難行  
動の検証について伺う。

**適切な避難情報  
発令に努める**

**答弁** 榎屋村長 台風10  
号の村民の避難行

動は村の避難指示に対して  
69世帯134名が避難所に  
避難した。それぞれの避難  
時刻はまだ取りまとめは  
いないが越流により危険を  
強いられた方々もいた。

避難指示の発令や避難行  
動の遅れが刻々と危険度を  
高める。今後も情報収集に  
最善を尽くし避難環境が悪  
化しない内に適時適切な避  
難情報の発令に取り組む。

また、村民が避難準備か  
ら避難へとしっかりと行動す  
るよう発令情報の伝達も  
屋外・屋内の放送、文字端  
末やエリアメールなどで確  
実に伝わるようにしなければ  
ならない。

避難については要配慮者  
などには直接電話で状況な  
どを確認しているが、いざ  
避難となれば大変厳しい状  
況も予測されるので地域で  
誘い合って避難していくこ  
となども取り組んでいく。

避難所開設についても村  
職員2名体制の内、1名を  
婦人協力隊の配置などで対  
応できないか協議する。



大上 浩史

# 今後の災害想定した 防災対策を

## データ活用・検証し、検討深める

榎屋村長



11月4日現在の普代川（新普代橋から上流を撮影）

**意見を集約し  
備えの検証を**

**質問** 普代川流  
域の氾濫  
は数年で何カ所か  
が全面的に水没し  
ている。災害時は  
3日前からテレビ  
などで災害の報道  
をしている。当日  
放送（防災無線で）  
しても雨の音など  
で聞こえなかった  
という苦情もある。

**質問** 岩手保健医療大学  
が来年4月開学、  
本県出身者対象の地域特別  
推薦枠を設けるとのこと。  
いろいろな分野の技術習得  
に奨学金制度確立を急ぐべ  
きだと思いがいかがか。

**答弁** 榎屋村長 経済的  
金銭的理由により  
夢を断念する方がないよう  
可能な支援もしていかなく  
ればならない。

医療系や保育系などの人  
材不足などから、県、近隣  
市町村でも制度を創設し、  
一定期間その市町村で当該  
職として勤務した場合には  
返還の免除も行う。

本村の現場での活躍は3  
年、4年先となるが、保健、  
医療、福祉、幼児教育など  
1年でも1カ月でも早く制  
度を創設、施行できればと  
思っている。

**質問** 普代川流域の氾濫  
に対する整備、土  
砂災害による砂防ダムの設  
置等々、防災に関わる整備  
が必要と思う。また広く村  
民の声を聴き台風の検証が  
大事。国、県の力をお借り  
し、防災対策に一層の努力  
をお願いしたい。

**調査データ活用し  
連携して取り組む**

**答弁** 榎屋村長 村民全  
ての皆様が決して  
自然災害により命の危険に  
さらされぬよう、災害の検

証・検討の場を設け、今後  
に生かしていく。河川管理  
者の県の諸調査データも活  
用し検討を深めていく。

県内では洪水による家屋  
浸水被害が多く、優先的に  
進めなければならない事情  
もあり、村の要望に対し事  
業化の時期を検討するにと  
どまり前進していないのが  
現状である。

上区の砂防ダムの加速化、  
緑区の子防治水事業の促進  
など、国、県、国会、県議  
会からもご指導いただき取  
り組んでいく。

備蓄は2日分位は用意し  
ておくことも必要でなかつ  
たのか。停電、断水など災  
害処理、復旧内容について  
の情報開示も必要。老人や  
子供がいる家庭には強制的  
にでも、避難所に逃げてく  
ださいというふうな表現を  
使っても人命を確保する  
ような意見集約、検証をし  
て今後の災害に備えてもら  
いたい。

**早めに状況収集し  
情報提供に努める**

**答弁** 榎屋村長 早めの  
気象情報を収集  
復旧の見込みなど可能な限  
り早めに把握し提供に努め  
たい。食糧などの備蓄もさ  
らなる質、量のアップを検  
討する。

要介護者は電話などで連  
絡を取っている。避難とな  
れば大変な事態になると思  
うので、地域の方々、御親  
戚、顔見知りの方々と一緒  
に命を必ず守る対応をして  
いかなければならないと思っ  
ている。

## 奨学金制度の早期確立を

## 監査意見

松葉明人 監査委員  
大上浩史 監査委員



9月定例会で報告をする松葉監査委員

## 効果的な行政運営を

平成27年度は久慈消防署普代分署建設工事、学校給食施設整備工事、野球場トイレ改修工事、漁港建設工事などが行われ、歳出は前年度に比べ5億464万5千円(12.92%)の増となっている。一般会計と6つの特別会計全会計総額の実質収支は1億7943万2千円で黒字となっている。

また、東日本大震災復旧・復興事業のほか、地方創生関連事業では普代村総合戦略策定事業、プレミアム付き商品券事業、はまゆり子ども園給食費支援事業など総額4588万4千円で人口減少対策や村活性化策に取り組んだ。

村税合計の徴収率は、88.64%で、前年度比0.11ポイント下回っている。自主財源となる税収の確保や公平性という見地からも、徴収体制の強化を図り、「岩手県地方税特別滞納整理機構」とも連携を密にし、さらなる徴収体制の強化を望む。特別会計は、それぞれ独立採算の原則に立ち、歳入の増収と経費節減などに意を配し、一層の努力を期待する。

今後も村民の行政に対する期待は大きく、財政需要はさらに増大するものと思われる。事務事業の執行に当たっては、優先度、緊急度を十分考慮し、最小の経費で最大の効果が得られるよう一層効果的な行政運営に努められたい。

# 平成27年度の決算を認定

# 44億円の使い道を再チェック!!



金子決算特別委員長 全員起立で決算を認定

## 村合同敬老会スナップ



## みんなのためのお金は、どう使われた？

決算特別委員会(金子泰男委員長)は9月13日から15日までの3日間開かれ、平成27年度の一般会計32億2877万7千円(前年度比12.81%増)と6つの特別会計11億8110万円(同比13.23%増)の総額44億987万7千円(同比12.92%増)を審査し、全員賛成で原案の通り認定しました。主な質疑と答弁は次の通りです。

### グリーンロードの 交差点標識改善を

熊谷委員

問 グリーンロードと小屋瀬線の交差点(茂市)では人身事故も発生している。現在の木の標識は弱い。どう

ちを優先にするかも含め、トータルに村で取り組むべきと思うが考えを伺う。

太田副村長

答 見通しをよくするため、山になっている部分で、グリーンロード以外で

### 小規模多機能施設 村の関与範囲は

中村委員

問 昨年、普代福祉会が黒崎の小規模多機能施設を運営できないという話が村にあった。今後の見通しを含めて村はどこまで関与できるのか関係性を伺う。

太田副村長

答 小規模多機能施設自体は村の施設で、普代福祉会に指定管理をお願いしている

### 患者輸送車の乗降 なぜ自動ではない

森田委員

問 村の患者輸送車の乗降ドアが自動でなく、高齢者

は非常に不便している。なぜ自動になっていないのか伺う。

山崎診療所事務長

答 オプションだと10万くらいだったが、車自体がオプションでは対応できず、板金などを含め数10万かかる状況で止むなく断念した。次の更新時に考えたい。

### 普代浜の施設完成後 観光客の見込みは

大上委員

問 普代浜の北側に施設ができた。南側にもできる。北と南を連結しないと観光客の呼び込みに影響すると思うが、観光客増員の見込

### 道下政策推進室長

みを伺う。

答 県の河川チームの方との打ち合わせの中で、導流堤も含めた効果促進事業を国にアピールする必要があるとの話もいただいている。今後国の方に要請していくに当たり、一体的な普代浜園地の活用について検討していく。

### 道路維持補修事業で 赤線道路もやるのか

野場委員

問 道路の維持補修事業で赤線道路についても行って

太田建設水産課長

答 村道を優先し赤線については特にやっていない。

### 土のう地区配置や 確保、充実も必要

中上委員

問 台風時の土のうの確保について、住民がすぐに使えるような地区への配置、融通の利く白い土のうの充実も必要ではないか。

川向総務課長

答 台風10号では黒い土のうが250から300ぐらいあったが、13号が来るときに残り130程度となり200袋増やした。現在の在庫は250ぐらいでほとんどが白い土のう

### くろさき荘の利用 外国人受け入れは

正路委員

問 くろさき荘は入り込み数が減っているが、今後外国人客の受け入れ対応も進めているのか。

道下休養施設管理員

答 外国人宿泊客は数人ある。村でもインバウンド(外国人の旅行者)効果は狙っていくべきと思う。

※導流堤…流路を安定させるために築く堤防  
※赤線(あかせん)…道路法の適用のない法定外公共物である道路(公園などにある里道)

# 記録的 台風 村を直撃!!



羅賀橋を流木がふさぎ、普代駅や役場方面に濁流が流れ住宅を飲み込んだ



村民グラウンドへ行く鉄板橋にも大量の流木。グラウンド、テニスコートにも濁流が流れ込んだ



上普代・深渡橋の下流に詰まった大量の流木。橋の左右から道路、住宅に大量の濁流が流れ込んだ



普代簡易水道の水管橋(配送水管)が根元から折れ、普代元村は3日間断水。多くの人が飲み水を求めた



三陸鉄道の陸橋付近の普代川も一気に増水し決壊。普代駅付近が川になった



流木が突き抜け羅賀橋は橋脚1本がなくなった



根っこから倒れている木が増水時の勢いを物語る



深渡橋の上流にも大量の流木



堀内漁港には、定置網に引っかかった大量の原木が引き上げられた

**大量の流木で 普代川が決壊**

8月30日、観測史上初めて東北地方の太平洋側に上陸した台風10号。豪雨による河川の氾濫で北海道・岩手県岩泉町などで多くの犠牲者が出ました。

村での1時間の最大雨量は49mmでしたが、普代川、茂市川の上流が大雨だったことなどから河川が増水。「一気に水が来た」と住民が言うように、橋に流木が詰まり、道路や住宅に濁流が流れ込め、住宅や公共施設に甚大な被害を及ぼしました。

さらには公共交通はストップ、電話は不通、停電、断水になり69世帯・134人が役場などに避難。被害は道路、農作物、水産物と広範囲に拡大しました。

村議会は9月5日、全員協議会を開き、被害状況を現地調査しました。

# 台風10号メモ

8月19日に八丈島近海で発生した台風10号は、26日には発達しながら北上し、30日朝には関東地方に接近、午後5時ごろには暴風域を伴ったまま大船渡市付近に上陸。速度を上げながら東北地方を通過して日本海に抜けるという、特異な進路をたどった。台風が東北地方太平洋側に上陸したのは気象庁が1951年に統計を開始して以来初めて。

県内では、記録的な豪雨で川が増水するなどし、各地で避難勧告・指示が発令された。沿岸を中心に記録的な大雨となり、久慈市や宮古市では住家の浸水被害が発生。青森、岩手、宮城3県と北海道の約44万5000人に避難勧告が出され、約4000人が避難した。さらに各地で孤立集落も出て、21人の犠牲者を出した。

1時間の降水量は最大値は宮古80<sup>mm</sup>、久慈・下戸鎖80<sup>mm</sup>、岩泉70.5<sup>mm</sup>で観測史上最大を記録。各地で浸水被害や停電が相次いだ。

## 発議案を可決

### 国・県に意見書を提出

9月定例会の最終日に議員8人の発議で、「台風10号による災害への対策を求める意見書」を可決。



中村裕議長

普代川、茂市川流域の堤防構築などの治水対策、被災者の生活再建、災害復旧工事の早期実現、被災した農林水産商工業者の経営再建への支援を求める意見書を、内閣総理大臣ほか関係大臣、岩手県知事に提出しました。

## 早め早めの行動を！



久慈消防署普代分署 佐々木昭二所長

今回の台風は、急に増水し河川が氾濫したので、判断が難しく、逃げようと思っても戸惑った人もいたのではないのでしょうか。しかし1歩判断を間違えれば、最悪の事態になっていたかも知れません。

早めの行動をしていれば、間違いはありませんし、被害がなければそれに越したことはありません。「何もなくて良かった」という考え方をしていただければと思います。今回のことを教訓に、今後も役場などの情報を聞き、普段から水、食料などを保管し、早め早めの行動をしてください。



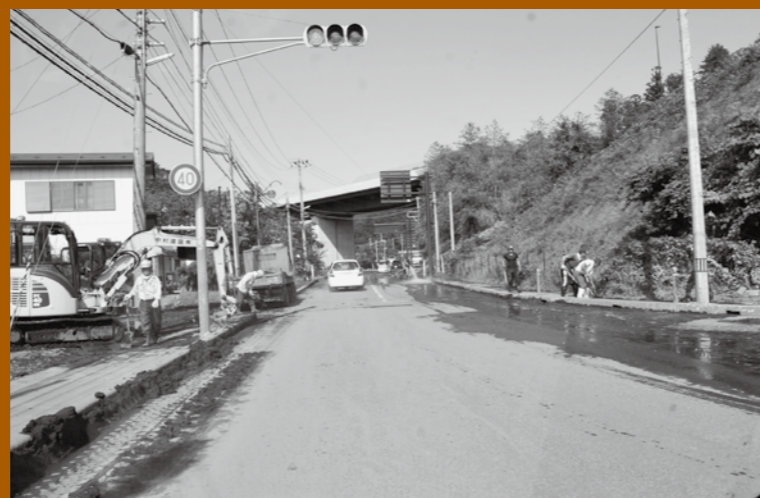
家具を運び出す消防団員。泥で基礎が隠れている



壁の半分以上が浸水していたと思われる住宅



濁流の勢いで壁が壊され基礎部分がむき出しになった上区地内の住宅



緑区の普代バイパスインターチェンジ付近も増水し通行止めになった



もっと雨が降り続いたら緑区地内の住宅もあわや大惨事になるところだった



役場庁舎近くの駐車場には、浸水した住宅の家財道具などが山積みになった



9月1日、資材が届き水道の復旧作業が行われた



水につかった大量の畳を運び出すトラック



榎屋伸夫村長から被災状況の説明を受ける議員

|        |         |   |
|--------|---------|---|
| 人的被害   | 死者      | なし  |
|        | 行方不明者   | なし  |
|        | 負傷者     | なし  |
| 建物     | 住家      | 床上浸水 23戸、床下浸水 51戸、一部損壊 1棟（全壊 1棟、大規模半壊 2棟、半壊 20棟）  |
|        | 非住家     | 浸水 65棟（倉庫、事業所等） ※ 公共施設は除く   |
| 避難     | 避難所     | 7カ所（役場、管理センター、B&G、黒崎公民館、芦渡多目的集会施設、茂市公民館、堀内机地区構造改善センター）  |
|        | 避難者     | 69世帯 134人   |
| ライフライン | 電気      | 8月30日停電：鳥居地区・白井地区 8月31日12時復旧、堀内地区 8月31日11時復旧、黒崎・太田名部・元村地区 9時17分復旧（停電世帯 1,051世帯）                     |
|        | 水道      | 普代簡易水道施設 9月2日15時30分復旧（断水世帯 451戸）<br>給水3カ所設置（管理センター、役場、理容銭さん前）<br>給水車3台による支援（盛岡市、矢巾町、奥州市、北上市）        |
| 公共交通   | 三陸鉄道    | 9月2日普代～久慈間通常運行、普代～宮古間不通（バス代行輸送）→9月3日より全線運行再開  |
| インフラ   | 電話      | 固定電話 8月31日20時45分復旧、ドコモ 9月2日14時復旧、au 8月31日15時20分復旧、ソフトバンク 8月31日復旧                                    |
|        | 道路      | 村道普代茂市線、向川原線、落合萩牛線、白井萩牛線（グリーンロード）、岩泉平賀普代線、普代駅前1号線、普代港線、普代南浜線外 28路線 45カ所で法面からの土砂流入、路肩の流出、河川氾濫による土砂流入 |
| 公共施設   | 公有施設    | 高齢者活動施設（床上浸水、浄化槽被害）、自然体験学習施設（窓ガラス破損）  |
|        | 診療所     | 国保診療所（一部床上浸水）、医科・歯科医師住宅（床上浸水）、診療所駐車場（泥堆積）、歯科診療所機器類（水没により故障：コンプレッサー、トランスフォーマーほか）                     |
|        | 簡水施設    | 普代簡水施設（水管橋施設流出）、茂市簡水施設（水源閉塞）  |
|        | 観光施設    | 三陸鉄道待合室（床上浸水）   |
| 公共土木   | 公共土木    | 羅賀橋（橋脚一部流出：通行止め）、村道 28路線 45カ所   |
|        | 農林水産業施設 | 農道・水田法面崩落 4カ所、頭首工 4カ所破損、水路 2カ所破損、農道橋 2カ所崩落、畜舎（ガラス破損）、普代地区共同利用施設（浸水）                                 |
|        | 体育施設    | 村民テニスコート（土砂堆積、フェンス・配水管等破損）  |
| 漁港施設   | 漁港施設    | 沢漁港（北防波堤・消波工）、村内各漁港（大量の立木等の漂流・漂着物）  |
| 水産業    | 養殖施設等   | 養殖施設（ワカメ種流出、93枚）、第2・第3ふ化場（土砂流入、電気系統）、定置網（立木漂流、手網一部破損）   |
| 農業     | 花卉・水田等  | デントコーン 15ha、りんどう等 0.42ha、ビニールハウス 2棟 60坪、水稻冠水倒伏等 1.77ha  |
| 商業     | 商工業者等   | 10事業所（店舗等床上浸水、冷凍冷蔵機器、営業機器類、建材資材等冠水）   |
| 災害廃棄物  | 処理量     | 可燃ゴミ 39t、不燃ゴミ 20t、リサイクル家電 120台含め、およそ 100t   |
| 被害額合計  |         | 9億 5379万円   |

# 請願・陳情

## 陳情3件を採択

9月定例会に提出された陳情は3件でした。総務常任委員会で審査した結果、3件を採択することに決定しました。また発議案として意見書を国などに送付しました。

### 国の出先機関 存続・充実を

▼陳情人  
岩手県国家公務員連労働組合共闘会議 議長 岩崎保

▼陳情の内容  
住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情

東日本大震災や近年の自然災害などで、公務労働者は国・地方が協力して、復旧・復興に取り組み、国民の安全・安心を確保するた

めには、国と地方の双方による責任と役割の発揮が重要であることが改めて明らかになった。

一方で、「道州制」の導入や市町村合併が進めば、住民生活・地域格差の拡大が一層進行する恐れがある。

よって国と地方自治体が協力して国民の安全・安心を確保するため、道州制を導入せず、国の出先機関を存続・充実させることを国に要望するもの。

### ▼採択の理由

審査では、住民の安全・安心を支える公共サービスは重要であることから、

本陳情の主旨は妥当であると全会一致で「採択」とした。

### 教職員の定数 補助の改善を

▼陳情人

岩手県教職員組合県北支部 支部長 佐々木幸男

▼陳情の内容

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、平成29年度政府予算に係る意見書採択の陳情

日本は、諸外国に比べ教員1人当たりの児童生徒数

### 私学への助成 充実・発展を

▼陳情人

私学助成をすすめる岩手会の会 会長 新妻二男

▼陳情の内容

私学教育を充実・発展させるための陳情

現在、私立学校の経営基盤は、厳しい環境にあり保護者の学費負担は家計を大きく圧迫している。また、生徒一人当りにかけられる教育費が公立学校と比べて低い。こうした状況の中で、教育条件の維持、向上と保護

が多いほか、障害のある子供たちへの配慮・対応、さらには、いじめ・不登校対応など、学校をとりまく状況は複雑化、困難化し、学校に求められる役割は非常に大きいものとなっている。

その中で、子供たちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善や教育の機会均等と水準の維持向

上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元することを国などに求めるもの。

### ▼採択の理由

審査では、いじめ対策や障害のある子供たちへの配慮・対応は少子化の現代の中で、非常に重要なことであることから、本陳情の主旨は妥当であると全会一致で「採択」とした。

者の経済的負担の軽減を図るとともに、私立学校の経営の健全化に資するため、運営費をはじめとする公費助成の一層の充実が求められていることから、私学助成について特段の配慮をす

### ▼採択の理由

審査では、私学教育を充実することは重要であることから、本陳情の主旨は妥当であると全会一致で「採択」とした。

## 台風10号の直撃受け 大雨被害にかかる 要望書を村に提出



征屋伸夫村長に要望書を手渡す中村裕議長(右)

村議会はこのほど台風10号など度重なる台風など記録的大雨の影響により、村内でも大きな被害を受けたことから、大雨被害にかかる要望書を村に提出し、適切な対応を求めました。

10号により北海道や岩手県では、河川の氾濫や土砂災害により尊い人命が奪われ、本村では住宅や農地への浸水被害、道路や橋などの損壊など、公共インフラにも多大な損害を与えました。

さらに立木の流入等により定置網・養殖施設等水産業にも深刻な影響を及ぼしています。ついでには住民が一日も早く元の生活を取り



普代浜園地を現地確認する関係者ら

## 議員ら出席、海岸堤防の建設など 県に5項目を要望

村議会は、村と連名で8月22日、役場大会議室で岩手県に対する平成28年度の重点事項要望をしました。

議員らは、県関係者や村、議会からは中村裕議長、熊谷有耕副議長をはじめ議員らが出席。中村議長は要望事項の重要性和県の協力や支援を訴えました。

- ① 太田名部漁港海岸及び沢漁港海岸への海岸堤防の建設
- ② 主要地方道岩泉平井賀普代線の改良促進
- ③ 一般県道普代小屋瀬線の改良
- ④ 二級河川普代川・茂市川及び普代川河口の整備
- ⑤ 普代水門・太田名部防潮堤の長寿命化対策



ふだいの



げんき

事務局  
日誌から

## 議会の動き

7月29日～10月31日

| 月日        | 場所           | 事項                           | 出席者           |
|-----------|--------------|------------------------------|---------------|
| 7月29日     | 宮古市          | 岩手県沿岸知的障害児施設組合例月出納検査         | 熊谷議員          |
| 7月31日     | 盛岡市          | 川村光朗氏旭日双光章受章祝賀会              | 議長            |
| 8月5日      | 英霊塔前         | 普代村戦没者追悼式                    | 各議員           |
| 8月8日      | 太田名部漁港       | 平成28年度漁港検診                   | 各議員           |
| 8月9日      | 久慈市          | 平成28年度久慈地区市町村議会連絡協議会定期総会     | 正・副議長         |
| 8月10日     | 鳥居地内         | 普代村学校給食センター開所式               | 各議員           |
| 8月14日     | 北緯40度運動公園野球場 | 平成28年度村長旗争奪地区対抗第62回野球大会開会式   | 議長            |
| 8月22日     | 役場           | 議会運営委員会                      | 各委員           |
|           | 役場           | 村議会第6回臨時会                    | 各議員           |
|           | 役場・普代浜園地     | 平成28年度「市町村からの要望」             | 各議員           |
| 8月23日     | 久慈市          | 久慈広域連合議会全員協議会                | 大上・野場議員       |
|           | 久慈市          | 久慈広域連合例月出納検査                 | 大上議員          |
| 8月25日     | 盛岡市          | 第54回知事を囲む懇談会                 | 議長            |
| 8月29日     | 宮古市          | 岩手県沿岸知的障害児施設組合例月出納検査         | 熊谷議員          |
| 8月30～31日  | 東京都          | 平成28年度中央研修会並びに岩手県選出国會議員との懇談会 | 議長            |
| 9月5日      | 役場           | 議会全員協議会                      | 各議員           |
| 9月8日      | 役場           | 議会運営委員会                      | 各委員           |
| 9月10日     | うねとり荘        | 平成28年度ふれあい敬老会                | 議長            |
| 9月13～15日  | 役場           | 村議会第7回定例会                    | 各議員           |
| 9月16日     | 役場           | 希望郷いわて国体普代村実行委員会第5回総会        | 議長            |
|           | 社会体育館        | 平成28年度普代村敬老会                 | 各議員           |
| 9月21日     | 久慈市          | 久慈広域連合例月出納検査                 | 大上議員          |
| 9月23日     | 盛岡市          | 第2回政務調査会・臨時総会                | 議長            |
| 9月28日     | 役場           | 議会広報常任委員会                    | 各委員           |
| 9月30日     | 宮古市          | 岩手県沿岸知的障害児施設組合例月出納検査         | 熊谷議員          |
| 10月1日     | 北上市          | 第71回国民体育大会希望郷いわて国体総合開会式      | 議長            |
| 10月2日     | 北緯40度運動公園野球場 | 希望郷いわて国体「軟式野球競技」             | 議長            |
| 10月5日     | 役場           | 議会全員協議会                      | 各議員           |
| 10月8日     | 役場           | 三笠宮瑤子女王殿下御成り                 | 議長            |
| 10月11日    | 久慈市          | 久慈広域連合議会全員協議会                | 大上・野場議員       |
| 10月14日    | 役場           | 議会全員協議会                      | 各議員           |
| 10月17日    | 久慈市          | 久慈広域連合議会定例会                  | 大上・野場議員       |
| 10月19日    | 久慈市          | 台風10号災害からの復旧要望               | 議長            |
| 10月21日    | 盛岡市          | 平成28年度第29回町村議会シンポジウム         | 嵯峨・中上・正路・金子議員 |
|           | 久慈市          | 久慈広域連合例月出納検査                 | 大上議員          |
| 10月22日    | 普代小          | 普代小学校学習発表会                   | 各議員           |
|           | 普代中          | 普代中学校文化祭                     | 各議員           |
|           | 北上市          | 第16回全国障害者スポーツ大会希望郷いわて大会開会式   | 副議長           |
| 10月23日    | 東京都          | ふるさと普代会                      | 議長・正路・野場議員    |
| 10月25～27日 | 北海道          | 平成28年度政務調査会研修会               | 議長            |
| 10月30日    | 矢巾町          | 第26回矢巾町産業まつり                 | 副議長           |
| 10月31日    | 宮古市          | 岩手県沿岸知的障害児施設組合議会定例会          | 熊谷議員          |

お知らせ

本号または過去の「ふだい議会だより」は、村ホームページ (<http://www.vill.fudai.iwate.jp/>) から見る事ができます。トップページの右下にある **議会だより** をクリックしてください。ぜひ、この機会にウェブサイトもご覧ください。

可決

こんなことが、決まりました

### 第6回臨時会

村議会第6回臨時議会は、8月22日開会、同日閉会しました。平成28年度一般会計補正予算、国民健康保険特別会計補正予算の2件を審議、全員賛成で原案可決しました。主な内容は次のとおりです。

6700万円で  
地方創生事業を

▽一般会計補正予算(第4号)

補正額6786万4千円を増額し、歳入歳出の総額を33億7141万9千円としました。

補正の内容は、地方創生加速化交付金を活用し、まち・ひと・しごと創生費の「普代の地域資源を生かした経済システム育成事業」で6786万4千円を増額するものです。

事業の内容は、「青の国ふだい観光まちづくり会社」(仮称)の設立、また設立後の運営における専門的人材の雇用や、未利用資源の商品開発、海外への販路開拓プロモーション事業などを展開するほか、普代駅待合室を2500万円で改修します。



改修が行われる予定の普代駅舎

### 一般質問その後…

村はどう対応したか!

#### 質問

### 普代村の魅力発信を!

平成27年12月定例会 一般質問から

インターネットの普及、発達は今日目覚ましいものがあり、さまざまな情報を得ることができる。村

のホームページで普代の魅力を発信して産業、観光の振興につなげる取り組みを行うべきではないか。

#### 答弁

### 見直しなどをし、情報発信に努める

最新の情報を見やすく、分かりやすく発信するために平成25年4月にホームページのリニューアルを

行い、随時見直しなどをして情報発信強化に活用している。今後も村の魅力発信に一層努める。

#### 現在

### 「ふだいFAN」サイトを開設!

現在、村のホームページに普代村情報発信サイト「ふだいFAN(ファン)」を開設。村の魅力を動画と写真で発信しています。

サイト内には「青の国新着情報」や話題やニュースを動画で伝える「北緯40度チャンネル」、観光名所、お勧めスポットを紹介する「ぶらふだい」、料理やお菓子、ふるさとの味を紹介する「海と山の美味百科」、「イベント情報」などが掲載され、村の情報が満載のサイトとなっています。



V O I C E  
未来予想図 Fudai

文化祭でチアダンスを発表

ずっと普代にいたい!

熊谷 菜摘さん (普代小4年)

1年生からはまゆりスポーツクラブでチアダンスをやっています。いつも発表するときはドキドキしていますが、見ているみんなが喜んでくれるとすごくうれしいです。

普代は海がきれいで、海の幸がおいしいです。今日は朝ご飯にメカブを食べました。イクラもおいしいです。

私は普代が好きです。私のクラスはいっぱい転校していったけど、私は普代を離れるときと寂しくなると思うので、将来は小学校の先生になって、ずっと普代にいたいです。

チアで元気にしたい!

赤坂 菊乃さん (普代小5年)

チアダンスをやって5年になります。発表で難しい振り付けが成功したときはうれしいです。お客さんが拍手して喜んでくれると、自分も元気になるります。

普代は人がやさしいし、みんな親しいのが良いところだと思います。人混みがないのも良いです。普代といたら海の幸。今朝はワカメのお味噌汁を食べました。

将来は学校の先生か、チアダンスの振り付け師になりたいかな? これからもチアダンスでみんなを元気にしたいです。

お知らせ

一緒に村のこと 考えませんか?

村議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回、役場3階の議会議場で開かれます。議員は議場でどんな発言をしているのか、また、村はどんな村づくりを考えているのか、今後の村の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひ、お越しください。

また、役場1階にある村民ホールテレビでも議会中継を見ることができますので、お気軽にどうぞ。

9月定例会の傍聴者は述べ12人でした。

次回は12月中旬を予定

お待ちしております!!

問=議会事務局 (☎35-2118)



9月定例会を傍聴する  
村婦人会の皆さん



役場1階ホールのテレビで、  
議会中継しています



あ  
と  
が  
き



▼8月30日の台風10号で被災された方々に改めてお見舞い申し上げます。

また、同僚議員であった坂下重雄氏が死去されました。慎んでご冥福をお祈りします。

今年短い秋になりそうです。村民の皆様におかれましては、体調に充分お気を付けください。

(正路正敏)

▼台風10号で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

近年、数十年に一度という災害が全国で続いています。今回のような台風がまた、来年来ないとも限りません。常に防災意識を高め、人命を第一に考えて災害に備えていきたいと思えます。

(嵯峨典行)

議会広報常任委員会

委員長 森田 幸一  
副委員長 正路 正敏  
委員 嵯峨 典行

